

報道機関各位

令和7年7月24日

# 令和7年度国立市幼保小連携推進 「往還型研修」成果発表会を開催します

市は、幼保小の連携を通して、子どもの学びと育ちを向上させるため、幼保小連携研究の第一人者の先生方をお招きし、年度で全3回の研修を実施しています。幼保小の職員がそれぞれチャレンジテーマを設定し、現場での実践事例を持ち寄り、学びを深めています。令和7年度については、5月、6月とすでに2回研修を行い、このたび、最終回の成果発表会を実施します。このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

## 概要

- 日時 8月1日(金)午後2時30分～4時45分
- 場所 くにたち未来共創拠点矢川プラス(国立市富士見台4-17-65)
- 対象 一般参加者は他自治体の保育・教育関係者、報道機関のみ
- 申込 国立市またはくにたち子どもの夢・未来事業団ホームページより
- 備考 詳細は、添付資料をご覧ください。

※幼保小の連携とは、就学前の幼児期の保育・教育の中で身に着けた子ども達の力を、途切れさせることなく小学校につなぐため、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校が連携することです。

問い合わせ

国立市 子ども家庭部 保育幼児教育推進課  
TEL042-576-2111 内線(155)

関係各位

国立市教育委員会教育部長 橋本 祐幸  
国立市子ども家庭部長 松葉 篤  
社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団  
事務局長 平 康浩

令和7年度国立市幼保小連携推進「往還型研修」成果発表会の開催について（ご案内）

日頃より、国立市の教育行政、保育幼児教育行政にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

国立市における幼保小連携推進事業につきましては、令和2年度より東京都の研究事業として本格的な取り組みを開始し、市内全公立小学校を核とした、幼稚園、保育園、認定こども園とのグループを編成し、職員や子ども同士の交流の中で、スタートカリキュラムの改善やアプローチカリキュラムの策定に取り組んでまいりました。

この取り組みを継続、発展させるため、令和6年度に、幼保小連携研究の第一人者の先生方をお招きし、全3回の往還型研修（※）をスタートしました。架け橋期を通じて、子どもの学びと育ちをつなぐために、幼保小の職員がそれぞれ「主体的、対話的で、深い学び」や「個別最適な学びと協働的な学び」に関するチャレンジテーマを設定し、現場での実践事例を持ち寄り、学びを深めてきました。令和7年度についてはすでに2回研修を行い、最終回の発表を下記の日程で予定しております。

国立市での取り組みをぜひ、関係者の方にもご覧いただきたく、ご案内させていただきます。

※往還型研修…研修での学びと現場での実践の行き来（往還）を繰り返しながら学びを深めていくスタイルの研修です。

#### 記

- 1 開催日時 令和7年 8月 1日（金）午後2時30分から午後4時45分まで
- 2 会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス（1階多目的ルーム他）
- 3 参加者 保育園、幼稚園、認定こども園の年長担任・園長、小学校1年生担任・校長・他学年の保育者・教員・一般参加者（他自治体の園・学校・教育委員会・役所・教育関係メディア等）
- 4 講師 大豆生田 啓友 氏（玉川大学教育学部 教授）  
寶來 生志子 氏（東海大学児童教育学部 准教授）
- 5 内容 保育者・教員による研修成果のポスター発表（自由見学形式）
- 6 備考 ①一般参加者は保育・教育関係者に限定させていただきます。一般の市民の方、保護者の方のご参加はご遠慮下さい。  
②会場の都合により、一般参加者は先着40名までとさせていただきます。  
③1つの団体からのお申し込みは1名までとさせていただきます。  
④お申し込みは別途掲載の Google フォームよりお願いいたします。

〔担当〕 くにたち子どもの夢・未来事業団 幼児教育センター  
電 話 042(505)6532